

長野大学ホームページについて

ホームページとパンフレットとの差

例) 企業情報学部

企業情報学部とは

現代の企業や組織が求めているのは、組織の"中心"になる能力を持った「人材」です。その能力とは、企画力や自己表現力、技術力、組織運営能力、経営戦略策定能力などで、企業が直面する課題や問題を分析し、解決するために必要なものです。

企業情報学部では、それぞれの能力を単独で習得するのではなく、総合的かつ自身の目標に合わせたバランスで学習することで、より柔軟で包括的な能力を備えた人材を育成しています。

デザイン分野では、デザイン力および企画力を習得します。学生が持つ独創的な発想力を高め、必要な技術を身につけていきます。

情報分野では、最先端のソフトウェア開発技術やネットワーク技術、情報発信やデザイン支援に必要なCG技術、デジタル映像表現技術などを学びます。

経営分野では、組織運営の基礎から戦略の立て方といった経営能力を習得します。

こうして身につけた能力は、学生自身が自分でテーマを決め、実行し、成果を出す「プロジェクト型学習」を中心とした学びにより、問題解決能力を有した職業人となるのです。

地域 × 研究

問題解決能力を身につけ地域社会に活かす [企業情報学部]

グローバル・デジタル化が進み企業間で競争が激化する現代において、社会で生き残るために必要なのは「問題解決能力」であると言われております。これは地域を構成する企業に対していっても然ることで、課題を発見・解決し、社会で生きていく力を身につけるなかで、自分が「面白い仕事」を見つけ、夢の実現につなげましょう。

企業で働くあなたはこちらを参考にしてください

顧客にしてほしい思いをもとにした企業や地域のイノベーションを

私共は経営学部で企業のイノベーションを創出していく事業について研究しています。地域の企業を支援する目的の企業が課題にあるなかで、企業・顧客・地域の視点では相手には十分に繋がらず、課題を解決しにくい状況にある企業や地域の課題を捉え、その課題を解決する事業、この事業をもち、2017年度から企業イノベーションプロジェクトを実施しています。そこで、学生たちがイノベーションを創出する活動を始めて、そのプロジェクトを通じて企業や地域の課題・ニーズを把握し、課題を解決する事業を創出しています。このような事業が地域の課題を解決すると、地域を創生していくことが可能になる。課題の解決

図や、さまざまな視点・視点から学生自身の研究を同時に進め、企業のことからの課題やイノベーションについて考えます。

学生には、尚書と協働しながら取り組み、企業や地域の課題のなかから、自分らの課題がわかる。課題を解決する人になってほしいです。

私共は地域の発展のための研究、教育、普及を専門としています。ここではみなさんでプロジェクトを立ち上げ、協働、デザインなどに取り組んでいきます。そこにはプロのデザイナーも関わっている。専用のソフトウェアを使うので、さまざまなイメージをのびにすることが可能です。

16名の学生をただでなく、事務局、工学、職人のメンバーも一緒に参加して協働が起きます。日本社会には優れた伝統的工芸技術があるもの、現代社会の進化によって多くの課題も起きます。この協働ではその協働を通してその課題について考えます。

2年次以降のプロジェクト研究では、伝統的工芸品に新たな価値を付与して、地域の発展文化への貢献、熱心な取り組み、100年前に建てられた邸宅を活かして新しい日用品をデザインしたり、子どもたちが地域の歴史文化を学んでいく。子どもが

IT技術を活かし文化財を後世に残していく

2015年からは情報科学系と協働する共同研究のプロジェクトをスタート。古文書として残されている経緯図や現在の経緯の画像をもとに、当時の経緯の姿を3DCGとして復元しています。

資料としては、経緯図の複製や複製CGの作成・アニメーションの制作なども行いました。現在は、3DCGの制作も進められています。

経緯図のデジタルアーカイブを行うには、CGソフトウェアを使いながら、経緯図の複製も可能です。その上で、学生はその複製を授業中の課題として

活用するための活用を専任で担当しています。経緯図の複製は、経緯図の複製だけでなく、経緯図の複製も行うことができます。経緯図の複製は、経緯図の複製を通じて、経緯図の複製を後世に残していく。

地域の芸術文化を活かし次世代に伝える

私共は地域の発展のための研究、教育、普及を専門としています。ここではみなさんでプロジェクトを立ち上げ、協働、デザインなどに取り組んでいきます。そこにはプロのデザイナーも関わっている。専用のソフトウェアを使うので、さまざまなイメージをのびにすることが可能です。

16名の学生をただでなく、事務局、工学、職人のメンバーも一緒に参加して協働が起きます。日本社会には優れた伝統的工芸技術があるもの、現代社会の進化によって多くの課題も起きます。この協働ではその協働を通してその課題について考えます。

2年次以降のプロジェクト研究では、伝統的工芸品に新たな価値を付与して、地域の発展文化への貢献、熱心な取り組み、100年前に建てられた邸宅を活かして新しい日用品をデザインしたり、子どもたちが地域の歴史文化を学んでいく。子どもが

・資料請求の流れ
ホームページ→パンフレット

ホームページの構造

News & Topics

全て 受験生 在学生 ニュース その他 >一覧へ

- 2021/06/18 **在学生** [対面授業の再開について](#)
- 2021/06/18 **ニュース** [【企業情報学部】森ゼミの一年生が社会や企業の問題解決を進めています（S社の課題を解決するコンセプトを検討しました。）。](#)
- 2021/06/17 **ニュース** [【企業情報学部】森ゼミナールが「企業イノベーションプロジェクト」（2021）を推進（スタートアッププロジェクトから理論的研究へ）](#)
- 2021/06/16 **その他** [【まちなかキャンパスうえだ】市民向けの講座を上田市内のケーブルテレビで放送します](#)
- 2021/06/14 **在学生** [【学生のみなさんへ】新型コロナウイルス感染者の確認後の状況と感染拡大の防止について](#)
- 2021/06/14 **受験生** [2022 大学案内 パンフレット/関連動画が完成](#)
- 2021/06/14 **ニュース** [【環境ツーリズム学部】環境・地域経済・財政ゼミナール（吉村ゼミ）千曲市埴捨棚田で田植え体験](#)

公立大学法人 長野大学 NAGANO UNIVERSITY

要職の方へ 在学生の方へ 卒業生の方へ 地域・一般の方へ

ENHANCED BY Google 検索 文字サイズ 標準 大きく

大学概要 Outline 学部・大学院 Faculty Graduate school 教育・研究 Education Research キャンパスライフ Campus life 入試情報 Admission キャリア・就職 Career

・News & Topicsがどのメニューに飛んでもページの最上部に位置している点



見たい情報が上から二番目に配置されるため、下までスクロールする手間が発生し、本当に見たい情報の二番手感が発生してしまう（見る気を削ぐ）

改善点

- ・パンフレットとの関連性を高める
写真、イラスト
色使い(企業情報学部なら青など)

- ・News & Topicsを最初のページのみに限定する

<p>> 社会福祉学部</p> <ul style="list-style-type: none">▶ 学びの内容と特色▶ 学びの特徴と4年間の流れ▶ カリキュラム▶ 3つのコース紹介▶ 本学における「公認心理師」の対応について（2019年度以降の入学生向け）▶ 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験、教員採用試験▶ 社会福祉学部の活動	<p>> 環境ツーリズム学部</p> <ul style="list-style-type: none">▶ 学びの内容と特色▶ 学びの特徴と4年間の流れ▶ 3つのコースとゼミ紹介▶ カリキュラム▶ 環境ツーリズム学部の活動
<p>> 企業情報学部</p> <ul style="list-style-type: none">▶ 学びの内容と特色▶ 学びの特徴と4年間の流れ▶ 3つのコースとプロジェクト紹介▶ カリキュラム	<p>> 総合福祉学研究科</p> <ul style="list-style-type: none">▶ 大学院説明会とキックオフシンポジウム▶ 授業・学生生活▶ 大学院 教員紹介▶ 2021（令和3）年度 大学院入試